



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜市鶴見区仲通一丁目計画	階数	地上6F
建設地	横浜市鶴見区仲通一丁目	構造	RC造
用途地域	商業/準住居地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 竣工	評価の実施日	2022年12月12日
敷地面積	1,104 m ²	作成者	渋谷操
建築面積	760 m ²	確認日	
延床面積	2,947 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	0	100%
②建築物の取組み	46	123%
③上記+②以外の	92	123%
④上記+	138	123%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	3.2
温熱環境	3.1
光・視環境	3.0
空気質環境	4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.0
耐用性	3.1
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.1

地球温暖化	1.1
地域環境	2.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
維持管理のしやすさ・耐用年数の長い建材を選定し、建物の高寿命化を図った。	特になし
Q1 室内環境 開口部等の遮音性能の確保、断熱等級4相当、内装材は、すべてF☆☆☆☆とする。	Q3 室外環境(敷地内) 道路に面して植栽を配置
LR1 エネルギー 断熱等級4相当	LR3 敷地外環境 気象台データの確認
Q2 サービス性能 維持管理のしやすい内装材を選定 耐用年数の長い外壁仕上げ材を選定	
LR2 資源・マテリアル LGS壁・天井下地を採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



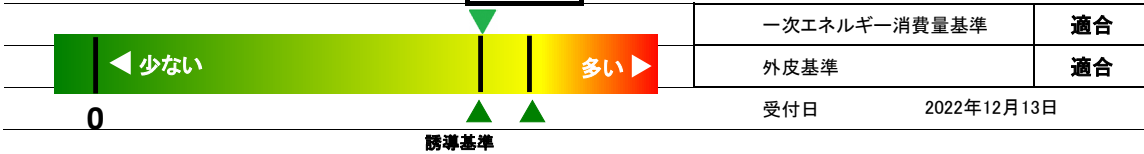
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)横浜市鶴見区仲通一丁目計画

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **10** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①サッシにペアガラスを採用し、断熱等級4としています。
- ③給湯器は、エコジョーズを採用し省エネルギー化を図っています。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

- ⑤サッシにペアガラスを採用し、断熱等級4としています。

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

- ⑥内装材はすべてF☆☆☆☆を採用しています。
- ⑦1階に侵入防止柵を設け、防犯性を高めています。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑰耐用年数の高い建材を採用し、劣化等級3としています。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

- ⑲⑳建物をコの字型に配棟し、外部廊下からの隣地への視線に配慮しています。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1
 (仮称)横浜市鶴見区仲通一丁目計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境									3.4
1 音環境					3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 騒音					3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音					3.0	0.50	3.6	0.50	-
1.2.1 開口部遮音性能					3.0	1.00	5.0	0.30	-
1.2.2 界壁遮音性能					3.0	-	3.0	0.30	-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音					3.0	-	3.0	-	-
2 温熱環境					3.0	0.35	3.1	1.00	3.1
2.1 室温制御					3.0	1.00	3.3	0.50	-
2.1.1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		-	-	3.0	0.63	-
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境	⑤外皮性能	3.0	1.00	4.0	0.38	-
2.1.3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		3.0	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		-	-	3.0	0.20	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		-	-	3.0	0.30	-
3 光・視環境					3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 屋光利用					3.0	0.30	3.0	0.30	-
3.1.1 屋光率	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	0.60	3.0	0.50	-
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境		-	-	3.0	0.30	-
3.1.3 屋光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.30	-
3.2.1 屋光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	1.00	3.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	0.15	3.0	0.15	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	0.25	3.0	0.25	-
4 空気質環境					4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策					5.0	0.60	5.0	0.63	-
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境		5.0	1.00	5.0	1.00	-
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	-
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境		3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境		3.0	-	3.0	0.33	-
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境		3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理					-	-	-	-	-
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境		3.0	-	-	-	-
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境		3.0	-	-	-	-
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.0
1 機能性					3.3	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	3.0	0.60	-
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	-	3.0	-	-
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	-	3.0	1.00	-
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	3.0	0.40	-
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	-	3.0	0.50	-
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	-	-	-	-
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	1.00	3.0	0.50	-
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性		4.0	0.50	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性		4.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性					3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
2.1.1 耐震性	防災		⑬耐震・免震		3.0	0.80	-	-	-
2.1.2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.7	0.30	-	-	-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-	-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		4.0	0.20	-	-	-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		4.0	0.10	-	-	-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性					2.8	0.20	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性		2.0	0.20	-	-	-
2.4.3 電気設備	防災		⑰信頼性		1.0	0.20	-	-	-
2.4.4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性		5.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性					3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					-	-	3.0	0.50	-
3.1.1 階高のゆとり					3.0	-	3.0	0.60	-
3.1.2 空間の形状・自由さ					3.0	-	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	-
3.3.1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3.3.2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3.3.3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
3.3.4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
3.3.5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.1
 (仮称)横浜市鶴見区仲通一丁目計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			2.2
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-			4.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.0	0.50	-	-			4.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-			-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.1
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-			3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	-			3.2
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.0
1 地球温暖化への配慮				3.7	0.33	-	-			3.7
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-			2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	0.33	-	-			-
2 振動				3.0	0.33	-	-			-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-			-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-

上記以外の重点項目									
<事務用途>				-	-	-	-		
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-	-		
健康と安心				-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	5.0	-	-	-		
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-		
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-	-		